

## 【続・参考・「ノートを使って勉強する」という受験勉強方法について】

今回は、学んだことの要点や要約をノートに書くうえでのポイントの続きです。学んだことの要点や要約を書くうえでの書き方の例の解説です。

### 1. 「ルール3：分けて書く」の考え方を使う<sup>注1)・注2)</sup>

「『ルール3：分けて書く』の考え方をを使う」とは、以下の赤枠の中にある3つの書き方を使って学んだことの要点や要約をノートに書くことです。

【6つのルールと18の書き方】

ルール		書き方と内容	
ルール1	冒頭に書く	書き方1	要点を冒頭に書く
		書き方2	全体像を冒頭に書く
		書き方3	枠組みを冒頭に書く
ルール2	ペアで書く	書き方4	根拠を書く
		書き方5	条件を書く
ルール3	分けて書く	書き方6	かたまりに分けて書く
		書き方7	箇条書きで書く
		書き方8	表で書く
ルール4	視覚的に書く	書き方9	写真や図を入れて書く
		書き方10	強調して書く
		書き方11	まとまりを持たせて書く
ルール5	合わせて書く	書き方12	組み合わせて書く
ルール6	明確に伝わる文を書く	書き方13	具体的な文を書く
		書き方14	意味が明確な文を書く
		書き方15	能動態の文を書く
		書き方16	短い文を書く
		書き方17	肯定文を書く
		書き方18	文法を守って文を書く

注1)：出典・内容が明確に伝わる技術文書の書き方

注2)：ルール3は、「チャンク化」の考え方にに基づく書き方です。チャンクとは「情報のかたまり」のような意味です。チャンク化とは情報を分離することです。内容をチャンク化することで記憶しやすくなります（出典：「マンガで分かる技術文書の書き方」）。

## 2. 具体的な書き方

例えば、「液状化の発生を防ぐ工法の原理」について参考図書の中で以下のように書いてあったとします。この内容をそのままノートに書き写してもこの内容が頭の中に入りにくいです。内容が文の羅列で書いてあるからです。

### 1. 液状化の発生を防ぐ工法の原理

液状化の発生を防ぐ工法の原理として、「土の性質改良」と「応力・変形および間隙水圧に関する条件の改良」があります。前者としては、「密度を増大させる（締め固める）」、「液状化しない粒度の土に改良したり、混合材を注入したり混ぜたりして固化させる」、「飽和度を低下させる」があります。後者として、「地下水位低下や盛土載荷により有効応力を増加させる」、「発生する過剰間隙水圧を速やかに消散させる」、「地盤を拘束して地震時に発生する繰返しせん断変形を小さくする」があります。

そこで、「ルール3：分けて書く」を使ってこの内容の要点を整理してノートに書きます。ここでは、ルール3の書き方を使った2つの書き方の例を示します。

#### (1) 内容の要点の書き方・例1

「書き方6：かたまりに分けて書く」と「書き方7：箇条書きで書く」を使って書きます。以下にその結果を示します。

#### 液状化の発生を防ぐ工法の原理

##### I：土の性質改良

- ①密度を増大させる（締め固める）。
- ②液状化しない粒度の土に改良したり、混合材を注入したり混ぜたりして固化させる。
- ③飽和度を低下させる。

##### II：応力・変形および間隙水圧に関する条件の改良

- ①地下水位低下や盛土載荷により有効応力を増加させる。
- ②発生する過剰間隙水圧を速やかに消散させる。
- ③地盤を拘束して地震時に発生する繰返しせん断変形を小さくする。

## (2) 内容の要点の整理方法・例2

「書き方8：表で書く」の書き方を使って書きます。以下にその結果を示します。

液状化の発生を防ぐ工法の原理

原理	内容
土の性質改良	密度を増大させる（締め固める）。
	液状化しない粒度の土に改良したり，混合材を注入したり混ぜたりして固化させる。
	飽和度を低下させる。
応力・変形および間隙水圧に関する条件の改良	地下水位低下や盛土載荷により有効応力を増加させる。
	発生する過剰間隙水圧を速やかに消散させる。
	地盤を拘束して地震時に発生する繰返しせん断変形を小さくする。

## 3. 工夫してノートに書く

『学んだことをノートに工夫して書く』という受験勉強方法<sup>注3)</sup>および「参考・『ノートを使って勉強する』という受験勉強方法について<sup>注4)</sup>」というダウンロード資料の中で様々な工夫して書く方法について解説しました。例えば、「教材に書いてあることの要点や要約を書く」や「走り書き程度で書く」のようなことです。

今回の資料では、学んだことの要点や要約をノートに書くときの具体的な書き方の一例を解説しました。教材に書いてあることをそのまま丸写しにするのではなく書き方を工夫することで学んだことの要点や要約が頭の中に確実に入ります。

工夫してノートに書く方法およびノートへの書き方を考えることでノートを使った勉強の成果が確実に出ます。

注3)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「『学んだことをノートに工夫して書く』という受験勉強方法」の資料を参照のこと

注4)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「参考・『ノートを使って勉強する』という受験勉強方法について<sup>注4)</sup>」の資料を参照のこと

以 上